



〈ベトナム・リサーチ・レポート〉

情報提供用資料

2023年9月20日

インド・米国・日本株式との【相関関係が低い】ベトナム株式市場を 投資先に追加することはリスク低減手段になる

そのユニークさゆえに、ベトナム株式市場は他の主要国市場との相関が低い（下表）。インド、米国、日本株式市場との相関係数がいずれも 0.4 以下と低く、それら市場をコア投資先とする投資家が、リスク低減を目的としながら追加投資先を検討する場合、ベトナム株式市場は有力候補先になるといえるだろう。

分散投資とは、複数の投資先に資金を分散することであり、投資リスクを減少させる効果がある。例えば 2 証券（投資信託でもよい）を組み合わせると、期待リターンは 2 証券の加重平均通りとなるが、リスクは 2 証券の連動性・相関関係が低いほど低下し、リスク・リターン特性が向上することが知られている。連動性が低い場合には、片方が大幅下落したとしても、もう片方が同様な動きにならないためである。このように、期待リターンを保ちながらリスクを減少させるために、相関関係が低い証券（例えばベトナム株式市場）に追加投資することは、リスク低減の観点から有効性が高いといえるのである。

人口動態、貿易、海外直接投資、インフラ整備、数々の経済連携協定、グローバル企業による生産拠点の移転先であるなど、ベトナムは独自の特徴を兼ね備えたユニークな存在である。インフレ懸念など不安定な国際情勢のさなか、2022 年の実質 GDP 成長率 8.02% というアジア域内でも屈指の経済成長力を示すなど、その魅力は数値面でも裏打ちされている。韓国取引所（KRX）設計の証券取引所システムが早ければ今年中にも稼働する見通しであるなど、証券市場の改革も進められており、証券市場の発展余地も大きいといえる。こうしたベトナム特有の魅力が他国との相関関係の低さにつながっていると当社では捉えている。

ベトナム株式市場は各国株式市場との相関関係が低い（2013 年 8 月末～2023 年 8 月末）

	ベトナム株式	中国株式	インド株式	米国株式
ベトナム株式	-			
中国株式	0.205	-		
インド株式	0.293	0.211	-	
米国株式	0.337	0.274	0.552	-
日本株式	0.326	0.258	0.494	0.567

*週次データ（2013 年 8 月末～2023 年 8 月末）を基に、キャピタル アセットマネジメントで相関係数を算出。

相関関係の計算で利用している各国の株式のデータは、以下の指数を使用。

（出所：ブルームバーグ）ベトナム株式：ベトナム VN 指数、中国株式：上海総合指数、インド株式：SENSEX 指数、米国株式：S&P500、
日本株式：TOPIX

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。